

CHALLENGE NEWS

チャレンジニュース!!

知的障害者入所更生施設

多機能型福祉サービス事業所



チャレンジめいとくの里



サポートセンター めいとく

一発行一
社会福祉法人 明徳会
〒861-5503
熊本市明徳町707-1
TEL(096)215-9101
FAX(096)245-2344



真夏の 下関旅行

【寄贈】
おかし ポンカン ジュース
ブルーベリー ゼリー
【ボランティア】
熊本保健科学大学

ありがとうございます

めいとく福祉相談室
熊本県が発行している「障がい福祉のしおり」をご存じでしょうか？
障がいのある方々が多岐にわたる福祉制度等をより積極的に活用し、社会参加と自立がより一層進むことを目的として、その概要を説明してあります。
障がい福祉関係の制度、サービス内容、関係施設の情報などが記載されていますので、ぜひご覧になって下さい。
(後藤・高井)

9月行事予定
3日(金):ディスコ
12日(日):県障がい者施設親善スポーツ大会
14日(火)~16日(水):旅行
＜東京2泊3日＞
23日(木):秋の市道清掃

9月のグループ外出は行いません

ボランティア募集
明徳会では様々な場面でボランティアを募集しています。
●活動ボランティア
日中活動をサポートしていただける方
●フイバーボランティア
ディスコやイベントなどとにかくご利用者様と一緒に盛り上がりつつ楽しんでいただける方、その他ボランティア大歓迎です。興味のある方、参加してみたい方は左記の連絡先まで気軽にお問い合わせください。
TEL:096-215-9101
MAIL:meitokunosato@yahoo.co.jp
担当:中田 今井

さんぽみち
平成十七年の開所以来、日々の体力作りとして毎日のウォーキング活動は欠かせません。以前は明徳体育館まで歩くのも大変だった方が美里町の日本一の石段を登れるほどになりました。
地域の皆さまにはいつも通行時にご配慮いただきありがとうございます。おかげさまで今日まで事故なく活動することができました。今後も元気に安全に気をつけて、交通事故など起こらぬように細心の注意を払い続けて行きたいと思えます。どうぞよろしく願います。

菊池養護学校プール利用
今年も暑い夏がやってきました。毎年菊池養護学校さんの夏休みのプール開放を利用していただいています。プール設備のない当施設としては本当に助かっております。ありがとうございます。
ご利用者様はこのプールを心から楽しみにされており、もはやめいとくの夏の風物詩になっています。

北九州・下関一泊旅行は、梅雨の真ただ中にも関わらず、晴天に恵まれました。初日は、関門海峡の九州側、門司港観光です。レトロ通りを散策していくと・・・見渡す限りの海！一気に皆さんのテンションが上がったのは間違いありません。カレーバイキングで昼食を終え、潮風を浴びながら海沿いの橋を皆さんで渡りました。
その後、鉄道記念館へ。実物模型や写真、機関車の設備等に見て触れて楽しむ、めいとく御一行。歴史を感じながらの見学となりました。
結構な道のりを歩いて見学し、車内は若干のお疲れな様子でしたが、ホテルには素敵な温泉があり、海の絶景を眺めながらの入浴は一日の疲れを癒す最高のものになりました。
そして、お待ちかねの夕食です。下関と言えば『ぶぐー』です。海鮮会席に皆さんで舌鼓。宴会場もホテルの最上階ということで、夕暮れ時の美しい景色の中お腹も心も満たされてしまいました。
二日目はいよいよ下関観光です。まず一行が訪れたのは水族館。最近できたばかりの

実施時間は朝十時から十一時半にかけて行っています。
順路としては、左の図の赤のラインの道をよく通っています。

“猛暑”と言う単語をよく耳にする毎日ですが、プールに入るご利用者様は“涼”を求めたり“遊”を求めたりと、とても楽しく利用させていただいています。
(村上)

『べんぎん村』では、皆さんペンギンの愛らしさにぞっこんでした。イルカとアシカのショーでは、イルカがジャンプ、アシカが曲芸をする度に、目は釘付け状態でした。それから、クジラの標本前で記念撮影。表情もふんわり“にこ”でした。
続いて、唐戸市場で海鮮バイキング、ショッピングを楽しみ、一行はめいとくへ無事帰り着いたのでした。
今回の旅行を実施するに辺り、ご家族の皆様、旅行会社のスタッフ様などに多くのご協力を頂きました。お陰さまで、ご利用者皆様、職員共に最高の思い出を心に残すことができました。ありがとうございます。
(平野佑)

出会いは突然に！職員奮闘記



生活支援員
大久保 麻衣
●所属:きらりグループ
●勤続:2年目

職員奮闘記、職員奮闘記：どんな事を書いたらいいのだろう...と考えるながら、結局思い浮かんだのは「福祉との出会いやめいとくの里との出会い」です。話がまとまるのか分かりませんが書いていきたいと思います。

「福祉」との出会い

私が初めて福祉の世界に触れたのは、中学生の時にあった一日職場体験でした。希望をしていた職業は保育士でしたが、希望者が多く、抽選の結果私は、特別養護老人ホームに体験に行く事になりました。そこではご利用者様の食事介助や一緒に体操をしたり歌を唄ったり、話をしたりとアツと言う間に終わったのを覚えていま

す。

とにかく職員の方の明るい笑顔とご利用者様と職員の方のたくさんの笑い声が印象に残った職場体験でした。

その後は特に福祉の世界に触れることはなかったのですが、高校三年生の進路で悩んでいる時に、叔母の紹介で女性の社会福祉士の方に話を聴く機会がありました。それが二度目の福祉の世界との出会いです。

話しをする中で感じたのは、「とにかく優しい」「話し方もゆっくりに分かりやすい」「話をしている安心出来る」という事でした。そんな事から「わたしもこんな女性になりたいな」と秘かに思っていました(笑)。こんな機会や、社会福祉士の方との出会いもあり、福祉の道に進んで行くことになった私であります。



大成功★

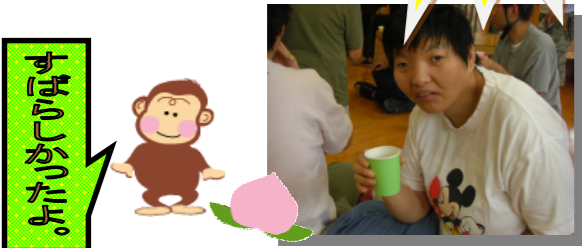
観てくださった皆さんありがとうございました。

日中活動 さくらグループ 演劇発表会



七月二十七日に、さくらグループは演劇発表会を地域交流スペースにて行いました。演目は「桃太郎」ですが、おとぎ話にはない桃太郎のお供としてクマが登場したり鬼の門番がなぜか鬼が島の門を自ら開けてしまったりといったアレンジを交え、演じるにあたっては台本を熊本弁で制作し、実際練習の過程で思考錯誤を加えながら肉付けするなどしてご利用者様の個性を活かした「桃太郎」を考えていきました。

みなさんお疲れ様でした!



すばらしいですよ。

お知らせ ~施設内通貨について~

今年度の施設スローガンとなっている「おもしろくて、たのしい、めいとくの里をつくろう!」の一環として、六月一日から施設内通貨「μ(ミュー)」を試験的に導入することとなりました。μ(ミュー)はフランス語で「安らぎ」という意味があります。「安らぎ」はめいとくの里のスローガンの一つでもあるとともに、「μ(ミュー)」という言葉の発音そのものが持つ心地よさに「安らぎ」を感じることを意図して命名しました。

施設内通貨「μ(ミュー)」とは

「施設内通貨」とはめいとくの里のみで使用できる通貨です。わかりやすく例えると「鶴屋の商品券」と言ったところでしょうか。もちろん「通貨」ですのでご利用者の皆さんはミューを使ったり獲得することができます。(最初に全員に10ミューずつ配布していただきます。それ以降はそれぞれに獲得して頂きます。増やす機会としては主にグループ内の活動とリンクさせて行っています。ちなみに私が所属する日中活動グループでは日々の活動を評価して週末にその評価を基にミューを渡しています。もちろん使う先もめいとくの里内に限られます。

現在は主にスタークラブの温泉入浴料やパソコン教室の受講料としてそれぞれ使っています。また近日常にめいとくの里内にレンタルショップを開設する計画が進行中ですが、そのレンタル料としてミューを使用します。

普及に向けて

「施設内通貨」と言う言葉を初めて聞いたという方も居るかもしれませんが、全国的には主に老人介護施設などで取り入れている所が多いようです。私も今回の導入にあたって色々調べましたが、知的障がい者関係の施設では実施している所は僅かでした。先行して実施している施設のように一律に普及させることは難しいかもしれませんが、ご利用者様の一人一人のニーズに合わせた使い方、何がおもしろいのか、何が欲しいのかをじっくりと考えていくことが大事ではないかと考えています。そして他とは違う、めいとくの里オリジナルの施設内通貨として普及することを目指して日々検討を重ねていきます。(ハッピースマイル委員会・追立)

めいとくの里との出会い

次にめいとくの里との出会いですが、大学生活もアツと言う間に過ぎていき就職活動をしなれば...という時期になってしまいました。悩んでいる時に、ゼミの教授の紹介でめいとくの里を知りました。「この施設はいいよ。見学に行ってみたら。」という進めで、めいとくの里との出会いの機会ができました。

石井副施設長や岸川支援員に案内をしていただいた事を、今でもしっかりと覚えていています。

その後、めいとくフェスタのボランティアにも参加させて頂きました。そこでは、一日きらりグループのご利用者様と過ごし、ご飯を食べたり、一緒にエイサーを踊ったりと楽しい時間を過ごすことができました。また、初めての知的障がいのある方とマンツーマンでの対応もさせて頂き貴重な体験をする事ができました。



みなさんにご感謝

めいとくの里に入社させて頂き早いもので、もうすぐ一年半が経とうとしています。フェスタの時から縁があったようで、入社してからずっときらりグループに所属し、ご利用者様と活動を共にすることが出来ています。

支援をする中でどのように接したり、対応したらいいのか悩む事もたくさんあり落ち込む事もあります。しかし、ご利用者様が明るく話しかけてくださったり、笑顔を見せてくださると「よっしゃ。頑張るぞ!!」と力も湧いてきます。また、職員の方々からの助言やご利用者様方の笑顔や言葉に助けられ、日々成長させていただいていることを深く感じる今日この頃です。

まだまだ分からないことも沢山あり、ご迷惑をおかけする事も多々あると思いますが、こんな私をこれからもどうぞよろしくお願ひします。

